

開かれた議会に向けて

公民館へ会議録を配置

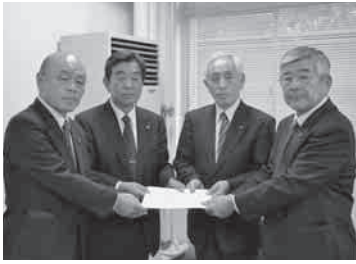
議会活性化推進特別委員会の第一次答申により、各地区公民館へ会議録を配置しました。ぜひご覧ください。



議会だよりと一緒に配置されています

第二次答申書を提出

議会活性化推進特別委員会は、印南委員長及び藤田副委員長から正副議長へ第二次答申書を提出いたしました。内容は九つの項目について答申するものであります。(答申については下表のとおり)



正副議長へ答申

議会活性化推進特別委員会第2次答申一覧

Table with 3 columns: 項目 (Item), 内容 (Content), and 取り組み状況 (Implementation Status). It lists various proposals such as '議員同士の活発な自由討議の導入' and '会派代表質問を復活'.

災害・新エネルギー対策特別委員会

十一月七日、八日(所管事項調査)

一 中央農業総合研究センター

(茨城県つくば市)

「バイオマス資源エネルギーについて」

バイオマス資源作物の栽培からバイオマス資源エネルギーの利用まで幅広く研究しており、休耕田や耕作放棄地の再生やバイオエタノールの生成抽出など、循環型農業の最先端を研究していました。

二 太陽光発電工学研究センター

(茨城県つくば市)

「太陽光発電について」

太陽光発電パネルについて、各メーカーの太陽光パネルを設置しており運転管理システムにより太陽光発電の多面的な評価を実施しています。太陽光パネルの発電効率の向上や太陽光発電システムに至るまで日本の太陽光発電に関する最先端の技術開発を行っています。

三 北越紀州製紙株式会社

(茨城県ひたちなか市)

「バイオマス発電施設について」

建設廃材、廃パレットなどを関東近郊から搬入し、バイオマス燃料を活用した発電及び熱利用に取り組んでおりました。

会社は再生紙の製紙工場で燃やした熱と発電した電気の半分は製紙工場で利用し、残りの余剰電気は電力会社に売電をしていました。

みなさんからの陳情 (委員会審査状況)

陳情第六号

国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情 (平成二十四年九月提出)

(提出者)

宇都宮市宝木町二〇二七八 栃木県社会保険推進協議会 会長 大根田 紳

(民生常任委員会審査状況)

本件については、議会閉会中の十月十五日に委員会を開催して審査を行いました。

まず、陳情内容を提出者に再度確認したところ、本陳情趣旨についても明確さを欠くものでありました。

また、国の補助金の大幅削減と保険増税との関係についても、国は、国保財政基盤強化や財政支援の強化を図っており、公費全体での負担割合は維持されていると考えられることから、補助金削減と保険増税は別の問題であるとの意見がありました。採決においては、全会一致で不採択となりました。